

日 時 平成30年9月1日（土）19:15～21:05

場 所 志津南まちづくりセンター 多目的室

出席者 （会長）花澤（副会長）佐々木、奥村、木村

（町内会長）坂本、室園、北村、武藤、難波、樋口、丸下、馬淵、濱田、湯浅、中村

（グループ代表）降矢、佐々木、上田

計18名

（事務局）妹尾、淵側

敬称略

理事会開会前に、草津市社会福祉協議会より、赤い羽根共同募金と歳末助け合い募金の協力依頼と説明があった。

## 1. 報告・連絡事項

### (1) 会長から

「各まちづくり協議会における運営状況について」の回答結果の概要報告。まち協で特に課題と感じている項目について、「次代を担う人材の確保」と「まちづくり協議会の活動の深化」が特に回答が多かった。「まちづくり協議会の活動の深化」については、地域の実情として「各まちづくり協議会事業が多岐に渡り肥大化」、「各部会の個別事業が年々増加」などがあり、昔からの事業がそのまま続いていることが要因として挙げられている。「次代を担う人材の確保」については、地域の実情として「役員の高齢化・固定化」、「ボランティアの人材不足」などがある。

### (2) 各町内会・各グループ・事務局から

#### ①事務局

まちづくりセンターに改修工事が入る。入札はまだで日程は未定。11月下旬には工事日程が判明するが、12月に工事が集中する見込み。工事内容は、駐輪場を含む外壁補修と塗装、正面入り口に手すりを設置、地域活動室への出入口全面改修、館内空調設備の更新である。駐車場が、工事関係で占有される箇所あり。

#### ②青少年育成委員会

8月より、愛の声かけパトロールが始まった。12月まで地域公園や商業施設を見守る。

#### ③環境美化委員会

台風通過後の、緑道や通学路の枝や落ち葉の回収について、各町内会・自治会での対応を決めていただきたい。どういう取り組みができるのか、ボランティアとどう連携を取るのか。

#### ④社会福祉協議会

9月17日に志津南小学校で敬老会を開催する。各町内会・自治会長に招待状をお渡ししているので、参加をお願いしたい。参加できない場合は代理をお願いしたい。今回は、各町ごとに席を設け、町内の方々と懇談できるようにした。

民生委員児童委員協議会より、緊急時の集合場所のリーフレットを預かったのもので、各町内会・自治会長配布した。

⑤ふれあい推進委員会

夏まつりの中止の件について、報告する。台風の接近で、当日朝6時から役員で集まり、事前に策定していた中止の基準に基づいて判断した。開催時間中も天気はもっていたが、片付けや追分南地区から来られる子どものことなども考えて中止とした。会計としては、キャンセル料などを清算し興行中止保険の処理をしておき、確定し次第報告する。チケットについては、ほぼ返金対応済みであり、保険の処理が終わるところまでは対応したい。

⑥追分南町内会

9月2日に防災訓練を行う。9月23日に追分町と親善レクレーション大会を行う。町内にて、開発の案件が持ち上がった。住宅の形態は、一戸建てとは限らず、まち協との関わりなども含めて、実情もふまえて今後町内会としてどうするか、皆さんのお知恵を借りながら対応したい。

⑦追分鴨田町内会

セアカコケグモが町内で発生した。市役所に問い合わせたところ、有害生物は敷地管理者が対応するとのこと、市道や側溝については市担当課が対応していただけたとのことだった。他町内会等と情報共有や連携をとりながら、一斉駆除など対処したい。

⑧コーギーガーデン自治会

9月2日に2回目の清掃活動を行う。

⑨岡本町西町内会

賃貸物件について、2回目の説明会があり、妥協できる内容となった。町内会の入会については、入居形態が単身だけではないので会則変更をするかもしれない。

伯母川沿いの地滑りについて、現在ブルーシートに覆われており、近々工事が入る。

⑩若草八丁目町内会

夏の一斉清掃の事前作業時、車の後部座席が割れるということがあったが、保険で対応した。けが人なし。

⑪若草七丁目町内会

8月5日に若草第七集会所で、若草八丁目町内会と合同で消防訓練を行った。約40名が参加。

かがやき通りの歩道について、多くの児童が上がってくるが、対応できないか。

⑫若草五丁目町内会

台風通過後に、副会長と町内巡回をした。若草中央児童公園で、子連れの親が善意で枝などを端に寄せてくれていた。

防災月間ということなので、町内会で伝えたい。

⑬若草四丁目町内会

台風通過後の清掃に参加したのは3名だった。ラジオ体操の参加者も落ち葉を集めてくれていた。台風通過後の清掃については、ルールを作っていきたい。

⑭若草二丁目町内会

町内会役員について、班長と専門委員を兼務することで半減させたが、上期が終わったので役員に意見などを確認したい。

⑮若草一丁目町内会

災害時の迅速な招集目的として連絡網を作る。

草津市から土地住宅統計調査の依頼が来た。全戸ではなく、無作為抽出のようである。

## 2. 審議事項

### (1) 地域協働合校推進委員会から事業計画変更申請について

(地域協働合校推進委員会 高岡事務局長が説明)

昨年度末の事業申請では、9月のデイキャンプを予定していたが、夏休み前に案内をしないと準備等が間に合わず、また9月に入ると小学校では運動会の練習に入り忙しくなるので、昨年度も人気があったスケートに変更したい。変更点としては、受付スタッフの負担を減らす為に、現地集合、昼食の準備のことを考え午後スタート、募集人員は60名(昨年度40名)、日程はアイスアリーナと相談して10月13日を予定。予算は、当初のデイキャンプで76,800円を申請していたが、スケートにする場合は費用を120,000円と見込んでいるので、差額43,200円を承認いただきたい。

(木村副会長)

正副会長会で事前に協議したところ、60名先着順での申込受付は不公平、費用について、子ども事業は子ども中心となるべきで、大人は自己負担にしてもよいのでは、学区内の小学生が約700名いるので定員60名をもっと増やせないか、という意見が出た。

#### 【各理事より出された意見】

- ・定員があるので、ほとんどの子どもが希望しても参加できない。みんなが楽しい事を共有できるように方向転換するべき。
- ・先着順では不公平なので抽選という意見があるが、そうすると兄弟や友達で参加できなくなると楽しくない。
- ・スタッフの大人は、参加する子どもたちの安全をみないといけないので、スケートリンクに入らないわけにはいかない。それは自己負担にするのは良いのかどうか。大人も楽しむために行く場合は自己負担でもよい。
- ・参加者の枠を外したら、費用が増えていく事業とそこまで増えない事業がある。そのような事業に修正していく方がよい。
- ・事業には、様々な切り口がある。スケートは冬の対応力をつけてもらうという切り口もある。

#### 【高岡事務局長】

定員は、あと20名ほど増やしたい。

#### 【審議結果】

以上の議論を踏まえ、

- ・参加定員を増やす
- ・参加費を増やす
- ・来年度以降は、定員のある事業をやめる

の条件付きで、事業変更を承認された。

(2) 公用車（軽トラ）の運用基準について（8/23納車）

先日納車された軽トラ（MT、ダンプ仕様）の使用基準と記録簿を策定した。公用車の使用目的は、職員のリスク軽減と構成団体に活用していただくことである。個人利用については検討中。

一年間（2019年8月末日まで）は、燃料代はまち協から補填し、実績を把握したい。

**【審議結果】**

異議なく、承認された。

以上